

令和4年度 事業報告書

『けやきの郷』拠点区分

サービス区分

就労支援B型事業所『けやきの郷』

仁多福祉会法人理念

(献身・貢献 規律・秩序 努力・向上 縁・感謝)

『けやきの郷』基本方針

- ①ノーマライゼーション理念に基づく社会参加
- ②意欲と生きがいにつながる就労支援（エンパワメント）
- ③意思尊重とその反映（アドボカシー）
- ④専門的技術・知識による支援

運営理念

- ①専門的技術・知識による支援とノーマライゼーションに基づく社会参加
- ②意欲と生きがいにつながる作業参加
- ③意思尊重とその反映（アドボカシー）による地域生活支援
- ④各機関との連携による支援

社会福祉法人 仁多福祉会

○施設利用者状況（定員 20 名）

令和 4 年度新規利用者 1 名

令和 5 年 3 月 31 日 現在登録数 31 名 男 22 名 女 9 名 制度外受入れ 1 名

令和 4 年度退所者 なし

○開所・利用状況

令和 4 年度 年間開所日数 242 日 1 カ月平均利用者実人数 20 人

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
人数	4 2 9	4 0 8	4 8 0	4 3 0	3 8 3	4 2 5	4 2 6
開所	2 0	1 9	2 2	2 0	2 1	2 0	2 1
一日平均	2 1. 4	2 1. 4	2 1. 8	2 1. 5	1 8. 2	2 1. 2	2 0. 2

月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
人数	4 3 4	3 5 4	3 4 0	3 3 9	4 1 4	4 8 6 2
開所	2 0	2 0	1 8	1 9	2 2	2 4 2
一日平均	2 1. 7	1 7. 7	1 8. 8	1 7. 8	1 8. 8	2 0

障害種別状況（令和 5 年 3 月 31 日現在）

身体 1 名 知的 13 名 精神 15 名 発達 2 名

年金受給者 有 28 名 生活保護受給者 2 名 無年金者 3 名

○年齢構成（20 歳～79 歳）

歳	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49
男	1 名	2 名	2 名	3 名	2 名	1 名	2 名
女	0 名	1 名	1 名	0 名	1 名	0 名	0 名

歳	50～54	55～59	60～64	65～69	70～	平均年齢
男	2 名	1 名	1 名	1 名	3 名	4 5. 3
女	1 名	2 名	3 名	0 名	0 名	4 7. 6

○主たる介護者状況（利用者の年代ごとの介護者状況）

本人の年齢	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代
両親	0 名	4 名	5 名	0 名	1 名	0 名	0 名
母親	0 名	1 名	0 名	1 名	3 名	0 名	0 名

父親	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名
姉	0名	0名	0名	0名	2名	1名	0名
兄	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
義姉	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
既婚者	0名	0名	0名	0名	2名	0名	0名
グループホーム	0名	0名	1名	2名	0名	3名	2名
施設入所	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名

*両親が介護者になっており、両親ともに75歳以上の利用者が2名、母親（片親）が介護者になっており、母親が75歳以上の利用者が4名在籍している。

○過去の作業活動（就労支援収入）と工賃総支給額（交通費支給額を含む）の推移

	作業活動（就労支援）収入	工賃総支給額
29年度	11,668,649円	6,794,942円
30年度	14,673,661円	7,361,767円
令和元年度	13,117,918円	7,212,008円
令和2年度	12,155,213円	4,867,750円
令和3年度	14,283,806円	6,820,128円
令和4年度	15,300,114円	6,843,270円
月平均工賃支給額	一人	16,050円

就労支援状況（短時間就労を含む）

令和2年度（1名） 令和3年度（1名） 令和4年度（1名）
 現在就労継続者 2名（うち施設契約利用者2名） 施設外作業従事者 0名

バザー出店状況

新型コロナウイルス流行の為、すべて中止になる。

○福祉事業活動

施設関連行事

実施日	行事名	場所	活動内容
5月27日	交流スポーツ大会	グリーンヒル佐藤	グラウンドゴルフ 昼食会
	ソフトバレー交流会	スポーツセンター	新型コロナウイルス感染予防のため中止。
	雲南スポーツ大会	アスパル	新型コロナウイルス感染予防のため中止。

6月20日	避難訓練	けやきの郷	火災時の避難訓練。消火器訓練
8月12日	盆前大掃除	けやきの郷	施設内大掃除。
9月22日	秋の研修旅行	協栄ファスナー	協栄ファスナー工場見学 シージャックにて昼食 トライアルにて買い物
10月25日	避難訓練	けやきの郷	災害時の対策（机上訓練）
11月24日	防犯教室	けやきの郷	警察官による防犯指導、道路を歩く際のマナーについて指導。
12月16日	忘年会		新型コロナウイルス感染者が出た為中止。弁当配布。
3月10日	年度末お疲れ様会	サイクリングターミナル	昼食会。来年度の抱負発表。

備考

○見学・実習受入れ

特別支援学校出雲養護学校雲南分教室・特別支援学校出雲養護学校・島根県立松江ろう学校・ホームケア島根（介護職員初任者研修）・島根リハビリテーション学院
※今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、下記の受入れはすべて中止にする。

○ボランティア受入れ

つくしの会（月2～3）作業・行事参加を通して利用者との交流

○健康教室

月1回（主に第三木曜）ストレッチ等健康に関する講義をリハビリ学院の金弦敬子先生にさせていただく。また、ボランティア（主に第二週）にも来ていただく。

○にこにこの会との交流会

にこにこ運動会・にこにこ学習発表会に参加

職員研修

開催日	研修	場所
8月24・25日	サービス管理責任者基礎研修	いきいきプラザ島根
8月1日～8月19日	児童発達管理責任者基礎研修	リモート研修含む
7月20日 11月20日	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修	朱鷺会館（出雲）
虐待 高次脳機能障害		リモート研修
11月30日	メンタルヘルス研修	リモート研修

2月20・27日	障がい者虐待防止・権利擁護 研修	リモート研修（けやきの郷）
3月1日	高次脳機能障がい者支援研修	リモート研修（けやきの郷）

○施設内会議

職員会議

開催月	主要内容
4月	けやきの郷スポーツ大会。バンド作業。リハ学生実習生の受け入れ。虐待防止・身体拘束適正化委員会。
5月	避難訓練。けやきの郷スポーツ大会。雲南分教室実習生の受入れ。ニッポーの作業について。利用者ケース報告。
6月	老健からの仕事依頼。日帰り遠足。ろう学校実習生受入れ。
7月	日帰り旅行。古書に関する会議報告。学生の実習報告。
8月	日帰り旅行。パソコン作業。合銀跡地の活用。仁多福祉会をデザインしよう会（仮）。利用者ケース報告。
9月	実習生（出雲養護学校）の受け入れ。秋の研修旅行の反省。交通安全教室について。避難訓練について。奥出雲椎茸の現状と従事者の今後。
10月	交通安全教室。利用者忘年会。グループホーム職員体制。WEB会議報告。送迎サービス。避難訓練の反省。
11月	利用者忘年会。GH勤務体制、12月行事予定。デザインしよう会報告。日中一時支援冬休み予定。
12月	仕事納め。老健の動向。デザインしよう会報告。忘年会報告。
1月	旧合銀跡地の活用。送迎サービス。玉峰苑の作業取組状況。年度末お疲れ様会。健康塾の経過。
2月	年度末お疲れ様会。健康塾。職員の行動制限、マスク着用。生活部会・作業部会振り返り。
3月	令和5年度の体制。地域生活支援事業。リハ学実習生。お疲れ様会の反省。利用者ケース報告。

ケース会議

開催月	主要内容
4月	けやきの郷スポーツ大会。利用者ケース報告。今年度のケース会の年間計画。
5月	生活部会、作業部会今年度計画。利用者ケース報告。けやきの郷スポーツ大会。業務継続委員会、衛生管理委員会。
6月	生活・作業部会の報告。利用者ケース報告。避難訓練。内部研修。

7月	各利用者の生活・作業目標の検討。利用者ケース報告。老健業務。避難訓練反省。
8月	各利用者の生活・作業目標の検討。利用者のケース報告。実習生受け入れ。新規事業。
9月	各利用者の生活・作業目標の検討。利用者ケース報告。日帰り旅行。業務継続・衛生管理委員会からの報告。仁多福社会デザインしよう会報告。
10月	各利用者の生活・作業目標の検討。利用者ケース報告。避難訓練。利用者忘年会。
11月	各利用者の生活・作業目標の検討。利用者ケース報告。作業報告。
12月	利用者ケース報告。ネット事業。
1月	利用者ケース検討。健康塾・老健。チューリップ教室。
2月	利用者ケース報告。健康塾。
3月	利用者ケース報告。虐待研修（内部研修）。メンタルヘルスケア（内部研修）。障がい者の結婚と子育てについて（検討会）。日中一時支援。

令和4年度相談支援事業サポートセンターけやき事業報告

平成25年度に開設した相談支援事業所を地域の中核として位置付け、その機能の一層の充実を図る。

【目的】

社会福祉法人仁多福祉会が開設するサポートセンターけやきにおいて実施する相談支援事業の指定・特定相談支援事業及び、障害児相談支援事業の適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、相談支援の円滑な運営管理を図ると共に、利用者、障害児及び障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な居宅介護の提供を確保する事を目的とする。

【人員配置】

- 施設管理責任者 1名 就労 B けやきの郷兼務
- 相談支援専門員 1名 専任
- 相談支援員 1名 就労 B けやきの郷兼務
- 相談支援員補助 1名 就労 B けやきの郷兼務

【相談件数】

延べ893件

【相談支援を利用している障害者等の人数】

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
障害者	実人員	23	19	17	15	18	20	15	17	19	16	14	19	212
	身体障害													0
	重症心身障害													0
	知的障害	10	9	7	5	6	6	7	6	9	6	6	8	85
	精神障害	11	10	9	8	11	10	7	10	10	9	7	11	113
	発達障害	2		1	2	1	2	1	1		1	1		12
	高次脳機能障害						1							1
	その他						1							1
	計	3	3	4	2	3	1	1	2	1	1	4	6	31
障害児	実人員	3	3	4	2	3	1	1	2	1	1	4	6	31
	身体障害													0
	重症心身障害													0
	知的障害	1	1	1									1	4
	精神障害													0
	発達障害	2	1	2	1	2		1	2		1	2	3	17
	高次脳機能障害													0
	その他		1	1	1	1	1			1		2	2	10
	計	26	22	21	17	21	21	16	19	20	17	18	25	243
計	実人員	26	22	21	17	21	21	16	19	20	17	18	25	243
	身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症心身障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障害	11	10	8	5	6	6	7	6	9	6	6	9	89
	精神障害	11	10	9	8	11	10	7	10	10	9	7	11	113
	発達障害	4	1	3	3	3	2	2	3	0	2	3	3	29
	高次脳機能障害	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	その他	0	1	1	1	1	2	0	0	1	0	2	2	11

【支援方法】

支援方法	訪問	14	5	9	5	11	2	5	17	5	6	4	5	88
	来所相談	24	55	21	31	31	21	27	15	16	27	15	45	328
	同行	9	9	12	4	10	12	9	11	17	11	8	8	120
	電話相談	19	29	21	18	18	19	15	42	17	23	37	18	276
	電子メール	0	0	0	5	0	0	0	0	0	7	0	4	16
	個別支援会議	1	4	0	2	0	0	1	1	1	0	1	3	14
	関係機関	4	1	2	8	7	4	3	7	4	1	3	4	48
	その他	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
	計	71	103	65	73	80	58	60	93	60	75	68	87	893

【支援内容】

支援内容	福祉サービスの利用等に関する支援	10	5	5	5	5	2	2	3	2	1	6	11	57
	障害や病状の理解に関する支援	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	健康・医療に関する支援	28	49	26	20	39	27	24	45	31	50	40	39	418
	不安の解消・情緒安定に関する支援	12	46	18	14	17	27	26	44	15	21	38	34	312
	保育・教育に関する支援	4	0	0	2	1	0	0	2	0	2	2	4	17
	家族関係・人間関係に関する支援	9	50	18	16	16	14	22	13	5	14	28	26	231
	家計・経済に関する支援	1	0	3	0	0	5	0	0	0	1	2	1	13
	生活技術に関する支援	8	36	14	33	30	30	38	22	18	46	32	49	356
	就労に関する支援	24	13	9	19	6	6	8	11	3	0	0	4	103
	社会参加・余暇活動に関する支援	2	6	0	1	0	5	0	12	2	1	1	0	30
	権利擁護に関する支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	5
	計	99	205	95	110	115	116	122	152	77	136	149	168	1,544

【地域生活支援】

障害者及び引きこもり等、特別な支援が必要な方に対する、保健・医療・教育・福祉連携による支援会議の開催

障害児及び特別な支援が必要な幼児・児童に対して、福祉サービスの利用に関する支援の実施
 児童発達支援事業所や療育機関、保育所、学校、教育委員会、保健師等、関係機関との連携や情報共有の場としての個別支援会議の開催

【日中一時支援事業】

3名受け入れ 年間利用日数 302日

〈活動内容〉

小中学校放課後支援、小中学校及び養護学校長期休暇支援、作業参加、調理実習、社会体験（放課後児童クラブスマイルとの連携、公共交通機関の利用等）、日中の見守り支援、おんせんキャンパス送迎支援

【送迎サービス事業】

2名受け入れ 年間利用日数 226日（年間利用回数 306回）

〈活動内容〉

町内外の学校及び施設を利用する障がい児者の相談に応じ、小学校から児童クラブへの送迎や施設及び学校、自宅とおんせんキャンパス間の送迎。

【障害支援区分認定調査】（施設利用に伴うもの・地域生活支援に伴うもの）

件数 8件 （県内 6件 町内 2件）

【職員研修・地域関係機関との連携会議】

第1回精神科救急医療体制整備雲南圏域連絡調整会議 （アンケート調査、資料配布のみ）

雲南障がい者就業・生活支援センター連絡会議 4年7月11日

雲南地区生活支援会議 （新型コロナの影響で会議開催中止）

障がい者相談支援従事者初任者研修 4年7月25～26日、8月3日、26日、9月15～16日

県障害支援区分認定調査員研修 （新型コロナの影響で開催中止）

雲南圏域医療的ケア児の在宅療養生活支援研修会 （新型コロナの影響で会議開催中止）

島根県精神障がい者地域移行・地域定着研修会 4年9月17日

雲南圏域ゲートキーパー養成研修会 4年9月28日

雲南圏域子どもの心に関する関係者研修会 4年12月20日

第2回精神科救急医療体制整備雲南圏域連絡調整会議 （アンケート調査、資料配布のみ）

雲南圏域障害支援区分認定調査員研修 （新型コロナの影響で会議開催中止）

相談支援事業所と市町村との連絡会議 （新型コロナの影響で会議開催中止）

県障がい者虐待防止研修 5年2月20日、2月27日

高次脳機能障害研修・連絡会 5年3月1日

【雲南圏域総合支援部会・地域部会】

総合支援協議会運営委員会 2回開催

総合支援協議会総会 （新型コロナの影響で資料配布のみ）

奥出雲町地域部会 4回開催

奥出雲町子ども部会 2回開催

就労支援専門部会 2回開催

相談支援部会 1回開催

相談支援部会研修会 事例検討 4年7月12日

8050問題について 5年2月28日

相談支援事業所そよかぜ館主催

高次脳機能障がい者支援ネットワーク会議 4年9月14日

令和4年度
共同生活援助（外部サービス利用型）「グループホームヴィラ佐白」
事業報告書

令和4年度は8名の利用者と短期利用者として2名の受入れを行った。コロナ禍が長引く中、感染予防に気を付けながら利用者の方が楽しめるような行事への取り組みや地域行事への参加を行った。短期入居者・体験利用者の対応及び全利用者への精神面・健康管理・生活のライフ作り・自立へ向けた支援への取り組みを行ってきた。また、利用者の方が安心・安全な環境作りと地域に根差したホームの生活作りに努めた。

1 共同生活援助の目標

地域における居住の場としてグループホームの充実を図り、利用者が地域で安心して、その人らしく生活ができるよう支援を行った。又、家族との交流を大切に、家族・本人の意向に基づいて良い関係が保たれる様に調整・助言を行なった。

2 利用者定員と利用者状況

利用定員 10名（うち1名は緊急受け入れ）

利用状況（短期、体験利用者含む）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	年間利用日数
240日	244日	238日	248日	248日	240日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	2,902日
240日	240日	248日	247日	224日	245日	
4月	5月	6月	7月	8月	9月	年間利用人数
8人	7.8人	7.9人	8人	8人	8人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	7.9人
7.7人	8人	8人	7.9人	8人	7.9人	

利用者状況

男性	5名
女性	3名

年齢構成

34歳	42歳	49歳	61歳	62歳	72歳
1名	1名	1名	2名	1名	2名

3 サービスの提供

利用者すべての方に個別支援計画の作成を行い、個別支援計画に基づいて支援を行った。

4 支援内容

世話人等により服薬、日々の観察、疾病予防、健康管理に努め、状況に応じて通院同行、入院等に関する支援も行った。又、共同生活住居において、整容、身だしなみ、入浴、排せつ又は食事の支援、相談その他日常生活上の援助を適切かつ効果的に行った。個々のニーズに沿った日中活動の支援を行い余暇の充実にも努めた。生活習慣病等の予防、咀嚼、飲み込みに配慮した食事提供を実施する為、献立を外部に委託、バランス良い食事提供、食べやすさに心がける食事提供を行なっている。

5 年間行事

新型コロナウイルスの影響もあり例年通りの行事の実施は出来なかったが、施設内での行事の実施や状況に応じて外出や地域との交流を図る行事を行ない利用者の方のストレス軽減、余暇の充実に努めた。

主な年間行事

月	施設行事	地域行事
4月	お花見ドライブ（10日）	
5月	環境整備・お弁当（3日） お楽しみ会食（6日）	
8月	大掃除（10日） バーベキュー（31日）	
9月		長者の湯イベント参加（24日）
11月	紅葉ドライブ（13日）	
12月	クリスマス会食（23日） そば打ち体験・大掃除（28日）	
2月	節分会食（3日）	
3月	施設内会食（3日）	

※新型コロナウイルス感染予防に努め可能な限り地域行事に参加をした。

6 防災訓練

災害発生時に、迅速に利用者が安全な場所に避難誘導し、利用者の安全に務めるため年2回火災避難訓練等を実施した。

- ・令和4年6月29日（避難訓練）
- ・令和5年3月15日（机上訓練）

7 短期入所（令和元年6月1日開設）

運営の実績

1. 目的

居宅の生活が一時的に困難な状況な方・家族の負担軽減・宿泊体験等利用者の要望に基づき短期入所事業を実施した。

2. 定員

1名（空床がある場合）

月	利用者数	利用日数
6月	1名	2日
8月	2名	4日
合計	3名	6日

3. その他

短期入居利用に限らず、日中において入浴サービス・余暇の充実等を必要とする人達の受け入れも行い、他の利用者とふれあうことで生活意欲・自立意欲の向上への取り組みも行った。

8 職員の資質向上

1. 施設内研修の実施
2. 外部研修
3. 職員健康保持の為にストレスチェック等の実施。
4. 担当者関係者会議を月1回開催。
5. 関係機関との支援会議の開催。（支援ケースに応じて）

令和4年度

地域生活支援事業 けやき広場

【目的】 町が実施する地域生活支援事業の一環として、障がい児者の社会参加の促進
誰もが参加できる内容に取り組み、併せて地域との交流を促す

【実施】

日付	事業名	内容	実施場所	人数	備考
10月17日(月) ～ 10月21日(金)	表現自由な作品展	・特別支援学級生徒作品 ・事業所利用者作品 ・養護学校生徒作品	玉峰山荘	80	温泉をご利用のお客様も、足を運んでいただき会場に溶け込み雰囲気も良く鑑賞者も沢山いた作品の展示方も見やすいなど意見があった。
2月11日(土)	eスポーツ	・ボードゲーム ・TVゲーム ・フリースペース	金吉屋	25	学生と子供を中心にメインのゲームが楽しんで貰えた。 年齢や障がいも関係なく地域で集れる場所(土台)の提供は出来た。
12月27日(木)	けやき広場、日中一時支援 両用用具準備	【物品購入】 ・卓球台 ・ブラインドボール			
3月17日(金)	けやき広場、健康塾 両用用具準備	【物品購入】 ・ゲーム機(健康塾レク・事業用) ・マッサージ器 ・プロジェクター(AV機器)			

反省・感想

- ・今年度も新型コロナウイルスの影響によって事業の縮小や回数の減少により計画的な事業展開が難しく予定通りには実施できない事もあった。
- ・作品展では、多くのお客様に来ていただき様々な感性に触れてもらえたように感じた。
- ・作品は前回に比べ少なかったが、見やすい配置で一目にも付きやすかった。
- ・eスポーツは和気あいあいとした雰囲気の中で過ごす場所として設定して実施。フリースペースでは、麻雀等持参している人から提供していただきゲームが苦手な大人も楽しんでもらった。
- ・その人達にあった過ごし方が出来たと感じる。
- ・健康塾で新しい取り組みとしてメディアを用いた内容で実施出来たらと言う意見をいただき、けやき広場でも使用可能な物を購入した
健康塾利用者さんも、一日の予定などをプロジェクターを通すと見えやすくゲームなども盛り上がっている様子。

次年度に向けての課題

- ・コロナウィルスの感染に気を付けながらも以前のように、スポーツ交流から、文化交流等を実
- ・作品展については、次年度(5年度)についても玉峰山荘で実施する予定だが、出展数が多かった時の配置を改めて考えて行く必要がある。
- ・eスポーツは「過ごす場所」をベースに、交流の幅が増えるように実施する。積極的に地域と関わられるような内容にしていきたい。
- ・新たにブラインドボールを購入したので、県のブラインドボール協会から講師を呼び、交流会の一つに取り入れ